

サイエンスキャンプ

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

海洋教育に関連する理科の実験・観察を通して、室戸の土地の成り立ちや生態系についての興味・関心を高める。

○ 実施期間

平成30年12月23日（日）～平成30年12月24日（月） 1泊2日

○ 対象者・参加者数（人数／定員）

小学4年生から6年生までの児童 36名／40名

○ 活動プログラム

12/23（日）	12/24（月）
9:30 はりまや橋観光バスターミナル発	6:30 起床・洗面・清掃
10:00 美波町役場由岐支所発	7:30 朝のつどい
12:00 海浜活動センター着 昼食【海浜活動センター】	朝食【食堂】 自主点検
12:45 開講式	9:30 自然の家発
13:00 理科実験 ①プランクトネットを作ろう ②プランクトンを捕まえよう ③プランクトンを観察しよう	10:00 慎太郎像前着 岬探勝
16:00 海浜活動センター発	11:00 慎太郎像前発
16:30 自然の家着	11:15 ジオパークセンター着 昼食【ジオカフェ】
17:00 夕べのつどい、夕食【食堂】	12:15 閉講式
18:30 入浴	12:30 ジオパークセンター発
19:30 アオリイカの体のつくりを知ろう	14:30 美波町役場由岐支所着
21:00 班会	15:00 はりまや橋観光バスターミナル着
22:00 就寝	

2. 活動の様子

<1日目>

1日目は、海浜活動センターで昼食をとり、3つの理科実験・観察を行った。まず、洗濯物ネットやフィルムケースを使って「自作プランクトンネット」を作成した。初めて作るプランクトンネットに興味を持ち、楽しんで活動に取り組むことができた。次に、自作したプランクトンネットを使用し、プランクトンの採取をした。海の駅とろむまでバスで移動し、班ごとに活動を行った。班で相談しながら採取場所を決め、楽しそうに活動している様子が多く見られた。採取後は、海浜活動センターに戻り、プランクトンの観察を行った。双眼実体顕微鏡を用いることで、海洋プランクトンを観察することができた。

夕食後は、アオリイカの体のつくりについて学習した。イカとタコの違いについて学んだ後、ハサミを使って解剖を行った。初めて行う解剖に戸惑いながらも、班で協力して体の中を観察することができた。その後、墨汁のうを取り出し、墨絵体験を行った。筆を上手に使い、海の生き物の絵を描くことができた。



<2日目>

2日目は、室戸岬で岬探勝を行い、大地のつくりについて学習した。まず、「地震発生説明器」を使用して、地震の発生に関する実験を班ごとに行った。次に、自然の家で作成した「付加体実験装置」を使用して、付加体のでき方についての実験を行った。実験を通して、付加体の発生原理について詳しく知ることができた。参加者からは、「なるほど！分かった！」といった声を聞くことができた。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・友達と協力して、プランクトンを捕まえることができた。
- ・プランクトンネットが深く沈むように、おもりのつける場所を工夫した。
- ・友達がたくさんできてよかった。
- ・顕微鏡でたくさんプランクトンを観察することができた。
- ・墨絵を描くのがとても楽しかった。
- ・イカの体の中を見ることができてよかった。

○ 事業の成果

- ・理科の実験や観察を通して、地震の発生や付加体の形成について学ぶことができた。
- ・双眼実体顕微鏡を用いて様々な種類のプランクトンを観察することができた。
- ・アオリイカの解剖実験を通して、「体のつくり」や「タコとイカ」の違いについて詳しく知ることができた。

○ 事業の課題

- ・自作プランクトンネットを使用して採取を行った際、ロープが絡んでほどけなくなり、活動に集中できない参加者がいたので、紐をまとめるものを準備しておく必要があると感じた。
- ・解剖実験用のアオリイカを確保することが困難であった。当日、確実に必要数を確保できるようにしておく必要がある。
- ・今回の予算で購入した「地震発生説明器」や「プランクトンネット」及び作成した「付加体形成装置」については、今後学校への広報を行い、岬探勝や雨天時のプログラムで利用団体へ提供していきたい。